

教科(科目)	美術 I	単位数	2単位	学年(コース)	2学年
使用教科書	日本文教出版『高校生の美術1』				
副教材等	トーリン美術予備校『技法書』				

1 学習目標

美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。
- (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- (3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

2 指導の重点

- ①対象を観察して表現する。(対象について見方感じ方を率直に表現できる)
- ②材料や用具の特性を生かして、適切な表現、独自の表現を工夫する。
- ③作品における表現技法を伸ばす。
- ④美術の基本的性格(形式・人生における意義、価値)を理解し、美術の創造活動に取り組む態度を育む。

3 評価の観点の趣旨

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> ・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を創意工夫し、表している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生成し発想や構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・美術や美術文化と豊かに関わり主体的に表現及び鑑賞の創造活動に取り組もうとしている。

4 評価規準と評価方法

	評価は次の観点から行います。		
	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価方法	以上の観点を踏まえ、 ・作品内容 ・レポート内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・作品内容 ・レポート内容 などから、評価します。	以上の観点を踏まえ、 ・作品内容 ・レポートの内容 ・授業への意欲 などから、評価します。
	内容のまとめりごとに、各観点 「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」 で評価します。 内容のまとめりごとの評価規準は授業で説明します。		

5 学習計画

月	単元名	授業時数 と領域	教材名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4	絵画/彫刻/ デザイン 絵画/彫刻	2 「A 表現/鑑賞」	教科書 デッサン コラージュ	・年間学習計画と高校芸術の心構え ・モチベーション ・素描 ・感覚練習	2	授業への意欲
		4 「A 表現」			4	作品内容
5	絵画	8 「A 表現」	アクリル	・新材料の扱い方 ・芸術作品の鑑賞、構図、配色、描写方法	8	作品内容
6	絵画	8 「共通事項」	アクリル	・名画(風景)を描く ・構図、遠近法など絵画秩序 ・材料の扱い方	8	作品内容
7	絵画	6 「共通事項」	アクリル	・名画(静物)を描く、構図、空間の意識、全体の色調	6	作品内容
8 9	デザイン	6 「B 鑑賞」	アクリル DVD の鑑賞	・ポスターの種類、歴史を調べる ・新しい発見 ・表現方法 ・構成	6	レポート内容
10	デザイン	8 「共通事項」	アクリル	・発想(目的を伝えるイラスト) ・構図	8	作品内容
11	デザイン	8 「A 表現」	アクリル	・表現方法 ・発想 ・抽象表現方法 ・構成	8	作品内容
12	立体(工芸)	6 「A 表現」	木彫	・日常生活に使うデザイン ・発想 ・構図 ・立体の意識	6	作品内容
1	立体(工芸)	6 「共通事項」	木彫	・エスキース ・主題と展開 ・技法の工夫	6	作品内容
2	絵画	6 「A 表現」	消しゴム ハンコ	・版画の世界(表現の可能性) ・立体の把握と色彩効果の表現、技能	6	作品内容
3	鑑賞	2 「B 鑑賞」	DVD の鑑賞	・図書館で画集の鑑賞 ・DVD の鑑賞 ・レポート作成	2	レポート内容

計 70 時間 (50 分授業)

※ 領域ごとの授業時数合計

領域ごとの 授業時数合計	A 「表現」	B 「鑑賞」	「共通事項」
	34 時間	8 時間	28 時間

※ 増単している場合は、増単した割合に応じた授業時数を確保すること。

6 課題・提出物等

単元ごとにエスキース、作品、またはレポート(作品のねらい、出来栄え、反省点)を提出。学期ごとにスケッチブックを提出。

7 担当者からの一言

様々な作品と出会い、鑑賞し創造しながら美術に触れることを楽しみ、自分がどんなものを作りたいか常に思考し、完成まで努力し、そのことを通じ、美術の意義や価値を理解してほしいと思います。

(担当: 藤岡 一之)

作成例2 (平成21年3月告示高等学校学習指導要領による…令和4年度2学年以上)

令和4年度シラバス (国語)

学番0 新潟県立〇〇高等学校

教科(科目)	国語(現代文B)	単位数	4単位	学年(コース)	3学年(人文科学コース)
使用教科書	〇〇書院『詳解現代文B』				
副教材等	△△学習社『標準漢字練習帳(応用編)』〇〇堂『近代評論文名作選I』				

1 学習目標

▲ 使用する副教材等も明記

近代以降の様々な文章を的確に理解し、適切に表現する力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。

2 指導の重点

学習指導要領の各科目の目標を参考にして記載

・進学・就職等希望進路が多岐にわたっていることから、

- ① 基本的な言語事項の習得を重視し、特に常用漢字の確実な習得を目指します。
- ② 文章を的確に理解した上で、自分の考え方を確立させることを目指します。
- ③ 更にそれらを的確に表現し、積極的に他者とのコミュニケーションを図る態度を育てます。
- ④ その他に、……………。

生徒の実態に即して記載

3 学習計画

月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
6	小説を読む(1)	森鷗外『舞姫』	・人物、情景、心情等を捉え、表現を味わう。 ・作品を通して自分の考えを深める。	8	定期テスト 授業の取組
	評論を読む(1)	石橋忍月「舞姫」他	・意見文をもとにしたディベートにより、主人公の生き方を考える。	2	ディベートノート 授業の取組
7	(月例漢字テスト)	常用漢字の演習その③(〇〇頁~△△頁)		1	
	定期テスト			1	

配当時間の合計と1時間当たりの授業時間を括弧書きで記載する ← 計128時間(55分授業)

4 課題・提出物等

- ・各月の最初に月例漢字テストがあり、範囲は月毎に副教材の1単元になります。
- ・単元ごとにディベートやレポート作成の時間を設定しています。
- ・夏季休業中の課題は別途指示します。(指定図書の見学感想文など)

5 評価規準と評価方法

評価は次の観点から行います。

(関心・意欲・態度)	(思考・判断・表現) (技能)			(知識・理解)
関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	知識・理解
国語や言語文化への関心を深め、国語を尊重し、進んで理解・表現し伝え合おうとしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じて筋道を立てて話したり、的確に関き取ったりしている。	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章を書いている。	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりしている。	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
以上の観点を踏まえ、 ・授業の取組(授業態度、発表や討論の様子、学習活動への参加状況など) ・ディベートノートや意見文、提出物などの内容 ・月例漢字テスト ・定期テスト などから、総合的に評価します。				

各観点の内容は学習指導要領をもとに記載「~できる。」「~している。」「~ようとしている。」の文末で記載

教科・科目によって観点が異なる。

6 担当者からの一言

いよいよ最終学年になり、職業人としての準備をしている人や、上級学校への進学を準備している人など様々だと思いますが、この科目では基本的な言葉(語句・語彙・漢字)の理解と活用をもとにして、読むことを重点的に学んでいきます。また、各単元の最後には、ディベートや感想文などで自分の考えを表現することも学びます。

1年後には、本校の卒業生としてふさわしい確かな国語の力を身に付けているよう、努力しましょう。

(担当:氏名)

